

# 岩手研友報

ミニ!

編集・発行  
岩手県公立小中学校  
事務職員研究協議会  
総務部  
令和6年2月9日

## 令和5年度の新会員 紹介

今年度の新規採用学校事務職員の皆様を紹介します。勤務校の紹介と事務職員になってみての感想をお聞きました。

佐々木拓真さん（矢巾町出身）

== 盛岡市立太田小学校 ==

本校の近くに100周年を記念して植樹した桜があり、毎年夏に周辺の草刈りを行います。

また、太田はりんごが有名です。とても美味しい太田りんごを給食でいただいています。

『不安でいっぱいでしたが、周りの先輩方に支えられ、自信をもって出来ることが増えてきました。幅広い業務ですが、その分やりがいも感じ、楽しく日々をすごしております。』

北館知沙さん（盛岡市出身）

== 盛岡市立松園小学校 ==

活動ではないのですが、児童の元気な挨拶と「ありがとうございます！」にいつも元気をもらっています。

忘れ物を届けた時や事務室から帰るときに必ずありがとうございます！と声をかけてくれる優しい子どもたちです。

『先生方や周りの先輩事務職員の方のおかげで、毎日楽しくお仕事が出来ています。早く業務を覚えて、一人でも問題なく仕事ができるように頑張りたいです。』

下留菜々子さん（岩泉町出身）

== 盛岡市立飯岡小学校 ==

飯岡小学校では地区ごとに集団登校しています。学年関係なく仲良く登校している所をよく見かけます。

伝統芸能として、運動会で5・6年生が下久根さんさ踊りを披露しています。

『事務職員も児童とかかわる所があります。掃除時間や昼休みなどです。名前を覚えてくれる子もいてとても嬉しかったです。その日にあったことなどたくさん話してくれるので楽しく聞いています。』

高橋優奈さん（一関市出身）

== 盛岡市立渋民中学校 ==

渋民中学校では、群読劇という伝統的な活動があります。生徒が意欲的に練習しており、県中文祭をはじめ、啄木祭や渋中芸術祭、文化祭などで保護者や地域の方々に発表しています。初めて群読劇を見たときは、とても感動しました。今でも鮮明に思い出せるほど印象に残っています。

『初めの頃は、業務を覚えることに必死で、分からないことがあれば、すぐに先輩の事務職員の方に聞いていました。段々と分からないことが減っていき、今、自分の成長を実感できるようになりました。この調子で、仕事を進められるよう頑張っていきたいです。』

井戸上 翔さん（滝沢市出身）

==八幡平市立安代小学校==

本校では、栽培面積・生産量・販売額ともに日本一を誇る安代りんどうについて学ぶ、りんどう学習を行っています。また、スキーも盛んで、毎年行われる三ヶ田杯というスキー大会に全児童が参加しています。

『私が学生の頃は、事務職員の方がどういった仕事をしているのか？なぜ学校に必要なのか？と思っていましたが、実際に働いてみて、幅広い業務を担っていることに気づきました。仕事には慣れてきたものの分からないことも多いので、経験を重ね一人前の事務職員になれるように頑張りたいです。』

有馬健人さん（西和賀町出身）

==葛巻町立葛巻中学校==

本校の伝統は「葛巻神楽」です。今年度は全国中文祭にも出場し、鳥舞と呼ばれる舞を披露してきました。華やかな神楽衣装と迫力のある振り付けは見る人々を魅了する感動的なものです。

『学校に一人しかいない事務職員という立場は最初とても心細かったですが、先生方や共同実施の方々に支えられて、なんとか仕事を覚えることが出来ました。今まで支えていただいた方々のためにも、早く一人前の事務職員になれるように頑張りたいです。』



高橋恋果さん（北上市出身）

==紫波町立紫波第三中学校==

紫波第三中学校は、地域とのつながりが強い学校です。地域で働く方々の話を聞く「あずまねカフェ」という取り組みや2年生は田植え・米作り体験を行っています。

『昨年度まで学生の立場だったので、先生方と仕事をしているのが不思議な感じです。一人配置ということで不安ばかりでしたが、先生方や先輩事務職員の方々に支えていただきながら業務を進められているのでとても感謝しています。』



佐藤琴海さん（紫波町出身）

==花巻市立八重畑小学校==

八重畑では林檎栽培が盛んです。そのため小学校では林檎に関わる総合学習が多く、「りんご販売体験」「摘果、収穫体験」や「りんご選果場見学」などを行います。今年は150周年記念式典もあり、様々な品種の林檎を飾りました。2ヶ月後、職員室でおいしくいただきました。

『ひとりで仕事するのではなくチームとして仕事することを実感しています。先生方や事務職員の方々、市教委の方々に支えていただいたことで無事に年を越すことができました。日々、感謝の気持ちを忘れず、カッコいい先輩方を目指してがんばります。』

齊藤 丈さん（滝沢市出身）

==遠野市立土淵小学校==

土淵地区は、柳田國男の遠野物語の舞台のひとつであり、遠野物語の「オシラサマ」や「座敷童子」などの語り部活動に取り組んでいます。

『小中学校は、基本的に事務職員が各学校1名の配置であることに驚きました。先生方や共同学校事務室の方々に支えられながら、業務を行っています。』



千田優佳さん（高知県高知市出身）

==金ヶ崎町立西小学校==

本校は全校58人の小さな学校です。周りを田んぼと山に囲まれて、とてもどかな雰囲気が流れています。運動会では、4～6年生が「よちよれ」というよさこいソーランのような踊りを披露します。休み時間まで練習している一生懸命な子ども達です。

『小規模の学校なので子ども達と接する機会が思ったより多く、調理実習で作った料理を持ってきてくれたり、クラスのパーティーに招待してくれたり、とても楽しく毎日をごっています。』

佐藤颯夏さん（一関市出身）

==奥州市立衣川中学校==

本校はボランティア活動がとても盛んな学校です。先日、民生委員や地域住民の方と協力して雪かき支援を行う「スノーバスターズ」の結団式があり、全校生徒の約半数が参加していました。地域への貢献に自ら参加する姿勢を持つ、素晴らしい学校だと思います。

『自分が学校事務職員になってみて、学生の時、事務職員の方にお世話になっていたことは多かったのだと気が付きました。改めてこの職への誇りを持ち、業務に励んでいきたいと思っています。』

錦織南月さん（大船渡市出身）

==陸前高田市立高田東中学校==

本校は生徒会が設立当初から「絆プロジェクト」という全国支援や地域との繋がりを活性化する交流を行っています。また、本校の応援歌の歌詞は早稲田大学さんからいただいたもので、とても素晴らしい応援歌です。

『先生方も近隣の事務職員の方も皆さんとても優しく、親切な方ばかりです。周りの方々に支援をしていただきながら早く一人前になれるよう頑張っていきます。』



三村優恵さん（金ヶ崎町出身）

== 釜石市立釜石小学校 ==

本校では、海に面したまちということもあり、海洋教育を行っています。ワカメの種付けや収穫、芯抜きを体験することができる点は、沿岸部ならではの教育活動と思います。

『一年早く学校事務職員になった友人から、一人職だと聞いていたので、この職に就く前は、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、共同学校事務室での業務を通して、仕事での問題解決や悩み相談ができていますので、4月頃よりも楽な気持ちで仕事できています。これから様々な経験をして、「歩く必携」になれるよう日々精進して参ります。』

中村汐音さん（久慈市出身）

== 田野畑村立田野畑小学校 ==

本校は、村内6小学校を統合し、新・田野畑小学校を設置した歴史があります。児童のほとんどがスクールバスで通学しています。校外活動が多く地域との親交が深いと感じました。

『職員室という慣れない場所で仕事することに不安と緊張がありましたが、多くの方に支えられ少しずつ仕事に慣れることができました。今後も日々学んでいきたいと思えます。』



千田瑠依さん（北上市出身）

== 宮古市立花輪中学校 ==

「南川目さんさ」「長沢剣舞」「花輪鹿子踊り」の3つの伝統芸能に触れることができる学校です。体育祭や文化祭などでの披露はとても迫力満点です。

『実際に見てみないとわからない教育現場に携わることができ、自分が学生の時の先生方に感謝を伝えたいと思いました。』

また、高校生の時から学校事務職員として働くことが夢だったので、今こうして働けていることに感謝を忘れず、これからも精進していきたいと思えます。』



高橋リックさん（盛岡市出身）

== 宮古市立津軽石中学校 ==

4つの郷土芸能に取り組んでおり、そのうちの「法の脇獅子舞」が古典の日文化基金賞未来賞を今年受賞しました。生徒たちが地域の伝統を引き継ぎ、名誉ある賞を頂きました。



『一人職で分からないことをすぐ聞けず、先生方に迷惑ばかりかけてしまいました。しかし、周りの方からの支えもあり、仕事にも慣れてきました。頼られる事務職員になれるように日々精進していきます。』

### 佐藤涼平さん（紫波町出身）

==洋野町立宿戸小学校==

本校は海がとても近いこともあり海洋教育が盛んで、夏になると洋野町の特産品でもあるウニ取り体験など、地域と連携して学校教育を行っています。

『毎朝子どもたちが元気に挨拶してくれるので、幸せな気持ちでいつも仕事に取り掛かることができます。最初こそ、子どもたちと関わる機会が少ないだろうと考えていましたが、想像以上に関わる事が多く、大満足です。』



### 齋藤一生さん（秋田県大館市出身）

==軽米町立小軽米小学校==

約400年の歴史を持つ伝統舞踊である「神楽」を本校の6年生が学習発表会で披露し、地域の伝統を受け継いでいます。その舞はとても力強く躍動感があり、見る人を魅了します。

『少し前まで学生だった私が、今では「先生」と呼ばれていることが不思議な感覚で、毎日がとても新鮮です。

仕事は覚えることが多く大変ですが、周りの先生方や共同実施の皆さん、そして児童の明るい笑顔のおかげで日々成長出来ています。』

### 中島一揮さん（釜石市出身）

==二戸市立浄法寺中学校==

浄法寺は漆の生産量日本一を誇る一大産地です。浄法寺中学校でも漆の植栽イベントへの参加や漆に関する講話など、浄法寺の産業について積極的に学んでいます。

『学校事務の仕事を経験して、分からないことばかりでしたが同じ学校に勤務する先生方や先輩事務職員の方にたくさん指導を頂き、学んできました。これから、一人でチャレンジする機会が増えると思いますが、学んだことを活かして頑張ります。』



### 編集後記

19人の新規採用学校事務職員の皆様、自己紹介を寄せてくださりまして、ありがとうございました。これからの活躍が楽しみです。期待しています。応援しています。ともに励みましょう。今回のミニ広報発行にあたり、支部長様をはじめ各支部の皆様にも本企画へお力添えいただきました。ご協力に感謝申し上げます。